

女川原子力発電所周辺海域における追加海上音波探査等の実施結果について

1. 追加海上音波探査等の目的

女川原子力発電所周辺海域(牡鹿半島東側)で確認されている、F-6断層～F-9断層の長さ、位置等に関する地質構造データを拡充することを目的に、過去に実施した調査よりも高精度の海上音波探査等を実施したものです。

2. 調査の内容

(1) 調査方法

海上音波探査および海底地形面調査(図1参照)

(2) 調査範囲

牡鹿半島東側海域のF-6断層～F-9断層周辺

(3) 調査期間

平成26年11月17日から平成27年2月1日まで
(その後、取得したデータの処理分析およびその分析結果に基づく断層評価を実施)

3. 調査結果を踏まえたF-6断層～F-9断層の評価

(図2参照)

今回実施した海上音波探査および海底地形面調査で得られた地質構造データに基づき、F-6断層～F-9断層の長さは、従来よりも約2km長い、約24kmと評価しました。

また、発電所の敷地に最も近い断層の端部(北西端)の位置は、従来よりも発電所の敷地から約3km遠くなるものと評価しました。

【個別の断層についての従来評価からの変更箇所】

- F-6断層の北西側で確認していた断層
⇒ 「活断層ではない」と評価
- F-6断層の長さ
⇒ 従来より約1km長い約9kmと評価
- F-7断層の長さ
⇒ 従来より約1km短い約11kmと評価
- F-9断層の長さ
⇒ 従来より約1km短い約8kmと評価
- F-8・f-12断層の長さ
⇒ 従来より約6km長い約15kmと評価

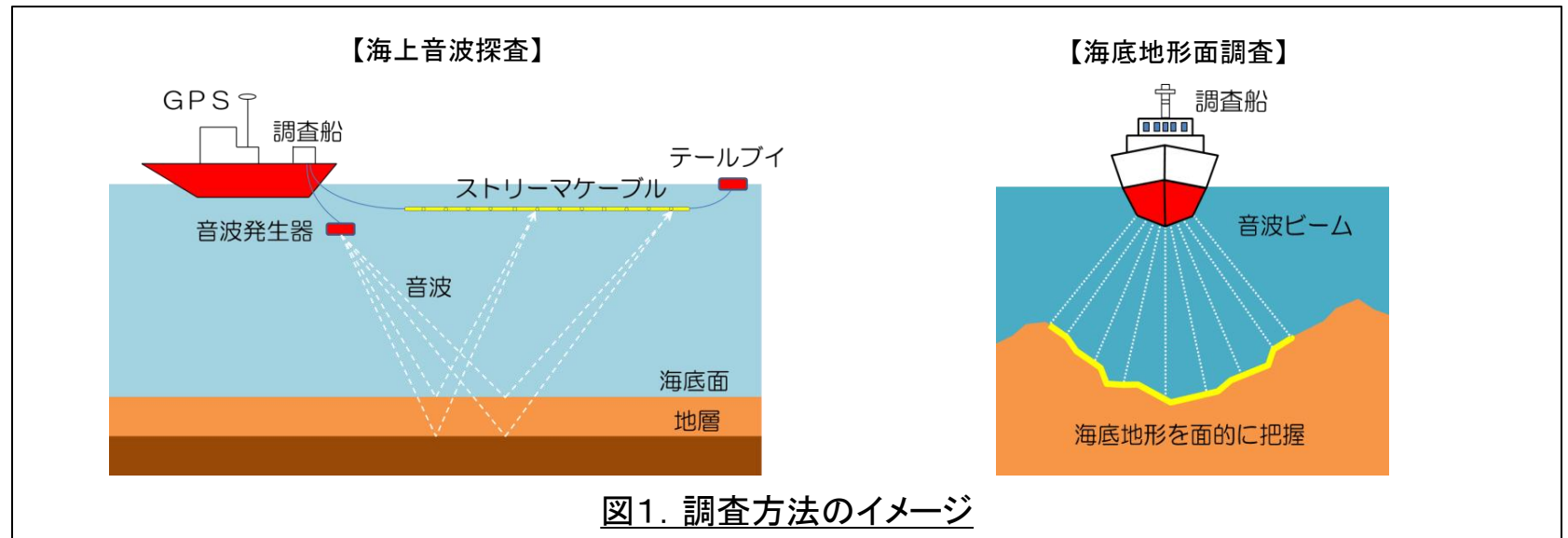


図1. 調査方法のイメージ

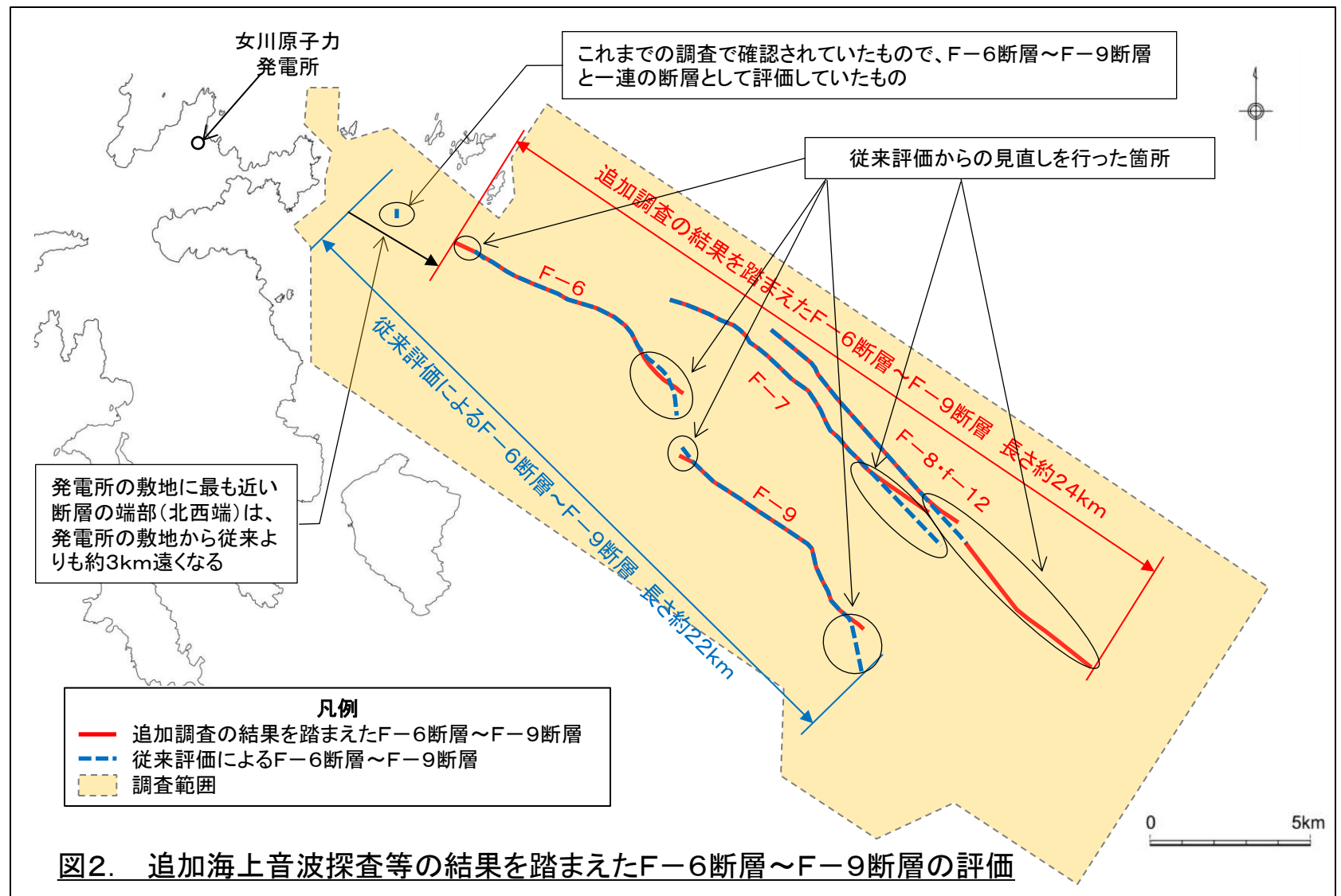


図2. 追加海上音波探査等の結果を踏まえたF-6断層～F-9断層の評価